

第3章 都心エリアのまちづくり方針

(1) 都心エリアの概要

1) 都心エリアの位置付けと役割

都心エリアは、新高岡駅から高岡駅を経て中心市街地に至る一体的なエリアとして、本市のみならず県西部地域における中心的役割を担うエリアとして位置付けています。

都心エリアは、城下町の風情や情緒を残す町並みや多くの歴史・文化資産を含むなど、高岡らしさを感じられる空間となっています。

また、高岡古城公園やスポーツコア、多くの商業・業務施設が集積する商店街など、様々な都市機能が集積し、市内外の人々が訪れる空間ともなっています。

都心エリアは、本市の都市活力をけん引する重要なエリアであることから、5つの地域区分とは別に具体的なまちづくりの方向性を示すこととします。



図 都心エリア位置図

2) 都心エリアにおけるこれまでの取組

都心エリアは、昭和40年代の高岡ステーションビルの建設、北陸初の地下街の整備等により求心力のある商業地づくりが進められた後、複数の市街地開発事業により市街地の整備を進めてきました。近年は、中心市街地活性化の取組として、商店街の活性化やまちなか居住も進めてきており、高岡駅・新高岡駅の整備と併せた道路等の基盤整備も進んだことから、広域的な交通結節点としての機能は大きく向上しました。

金屋町や山町筋の歴史的町並みは、重要伝統的建造物群保存地区に選定されているほか、平成23年に国に認定された歴史まちづくり計画では、高岡城跡、瑞龍寺、加賀藩主前田家墓所（前田利長墓所）などと一体的に「重点区域」に指定され、高岡の歴史や伝統を伝えるための取組が進められています。また、これら歴史・文化を市民や観光客が楽しく歩いて巡ることができるよう、たかおかストリート構想に基づく歩行者の回遊ルートづくりの整備も進められています。

(2) 都心エリアのまちづくりのテーマ

県西部地域の中核都市にふさわしい賑わいと魅力ある空間を創出するために、都心エリアでは、これまで継承されてきた歴史・文化、これまで整備してきた都市機能を基本に民間活力を活かしながら広域的な交流・連携を拡大することで、多様な世代が暮らし続けられるまちづくりを進めることを目指します。

このため、都心エリアのまちづくりのテーマを次のように設定します。

【まちづくりのテーマ】

- ◎ 将来にわたって多様な世代が居住する都心づくり
- ◎ 多くの都市機能がコンパクトに集積した都心づくり
- ◎ 広域的な交流・連携の中心となる都心づくり
- ◎ 高岡の歴史・文化を継承する都心づくり

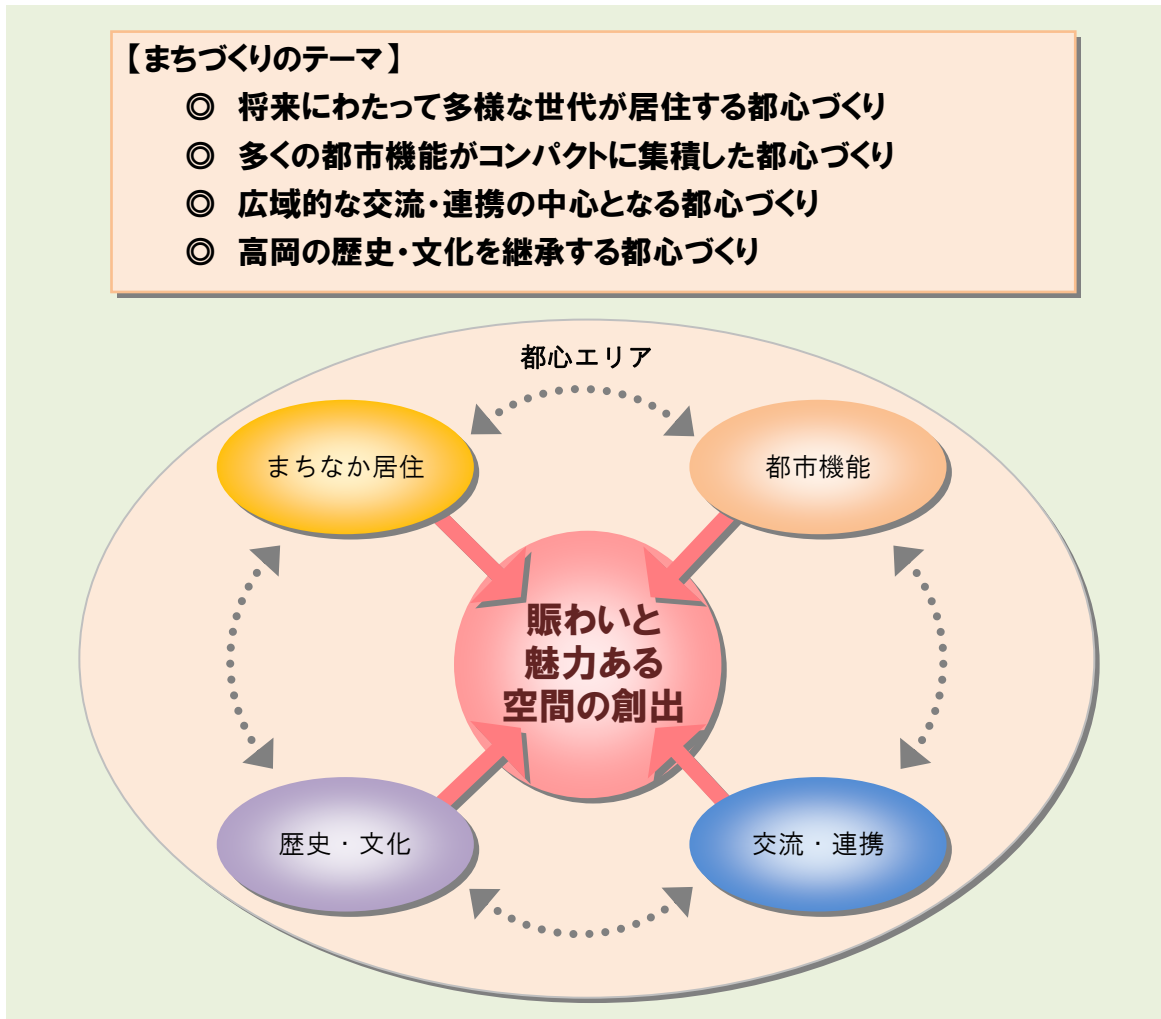


図 都心エリアにおけるまちづくりのテーマ

(3) 都心エリアのまちづくり方針

1) 将来にわたって多様な世代が居住する都心づくり

① 都心に賑わいを生み出すまちなか居住の推進

中心市街地を含む都心エリアでは、全市の傾向と比べて高齢化が進展しており、若い世代でもまちなかで土地や住宅の取得ができるよう、「まちなか居住推進総合対策事業」による住宅購入やリフォームに対する支援を行うことでまちなか居住を推進します。

近年増加している空き家・空き地については、適正な管理が行われるよう指導に努めるとともに、空き家入居者等への支援や居住の受け皿としての空き家・空き地情報バンク等による流通を促進します。

その他、まちなかに多くの雇用の場を創出し、徒歩や公共交通を中心としたライフスタイルを提案することで、まちなかに居住したいという意向を持つ人々を増やしていきます。

② 既存ストックを有効に活用するための市街地再生

都心エリアには城下町の町割りや町並みが今も残されていますが、その一方で、狭い道路や密集した木造住宅も多く残されており、防災性や快適性の面で改善が必要な地区があります。このため、歴史的建造物の保存や歴史的な町並みの保全と並行して、防火地域・準防火地域による不燃化を促進するほか、地元意向を踏まえて再開発や共同建て替えなども検討し、快適で安全な居住環境づくりを進めます。

特に、狭小間口の町家が多く残るまちなかでは、単体での建替が難しい場合に空き家や空き地になってしまうケースもみられるため、隣接する土地・建物の購入や除却に対する支援を通じて既存ストックの有効活用を促進します。

また、リノベーションまちづくり基本方針や、地域の空き家を活用して交流拠点や防災拠点を整備した博労地区「まちかどサロン」の取組、山町筋における民間団体による空き店舗のリノベーション「山町ヴァレー」や、金屋町における既存の伝統的建造物を活用した移住体験施設「さまのこハウス」などをモデルとして、まちなかの再構築に向けた取組を各地区で展開します。

③ 高齢になっても楽しく暮らし続けられる環境づくり

これからの少子高齢社会が進展する中においては、車を利用できない高齢者の生活を重視したまちづくりが重要となるため、都心エリアの充実した鉄軌道やバスのネットワークを活かして、徒歩と公共交通を利活用して暮らすことができる地域づくりを目指します。

このため、鉄道駅・電停・バス停や主要な公共施設、道路などにおけるバリアフリー化を図るとともに、安全で快適に歩くための歩行空間の確保を図ります。

また、中心市街地や観光地を巡る歩行者回遊ルートの形成と併せて、トイレや休憩施設の設置、立ち寄れる店舗や飲食店の誘導を図るなど、市民並びに観光客にとって安全で快適な歩行空間の整備を進めます。

2) 多くの都市機能がコンパクトに集積した都心づくり

① 市全体の利便性向上につながる高次都市機能の維持・集積

本市が県西部の中核都市としての役割や機能を維持するため、近隣都市から都心エリアに円滑にアクセスできる交通ネットワークを維持・強化するとともに、周辺市街地エリアと連携、役割分担しながら市内のどの場所でも便利に暮らすことができるよう、都心エリア内に公共（窓口機能）、福祉施設（福祉拠点施設）や教育・文化施設（高等専門学校、社会教育施設、文化施設）などの高次都市機能の維持・集積を図ります。

② 商店街活性化と商業・業務機能の強化

中心市街地の商店街においては、末広町通り、御旅屋通りを中心に観光地と商店街を結ぶ回遊ルートを形成し、観光振興と連携した活性化を目指します。

中心市街地の空き地や空き店舗を活用して新規開業する事業者に対して、改修費や賃借料の一部を支援し、賑わいの創出を図ります。また、空き家や空き店舗などの遊休資産を活かし店舗等への再生を図る民間主体の「リノベーションまちづくり」に取り組み、まちの魅力を高めます。

高岡駅前の核施設である高岡ステーションビル、駅前地下街や高岡駅前東地区の整備と一体となって高岡駅前の賑わい創出を図ります。なお、老朽建築物や低未利用地が多く存在する高岡駅前東地区では、土地の集約化と基盤整備を通じて商業・業務施設の拡充、コンベンション施設や交流施設の整備、居住機能の確保が図られるよう、民間活力による開発事業を支援します。

③ 5つのゾーンの役割分担と機能連携

歴史的な経緯や都市機能集積などの特性が異なる5つのゾーンについて、各ゾーンの役割や目指す土地利用等の方向性を明確にして機能連携を図ることで、一体的な都心エリアの形成を目指します。

3) 広域的な交流・連携の中心となる都心づくり

① 広域間及び拠点間と連絡する交通結節点の機能強化

北陸新幹線（金沢～大阪間）の整備促進、南北都心軸の強化を図る戦略的道路の整備等を通じ、本市及び県西部の結節点としての役割を担う高岡駅と、飛越能地域の玄関口としての役割を担う新高岡駅のそれぞれが担う広域的な機能の強化を図ります。

また、高岡駅を起点に南北方向に向かう JR 城端線・氷見線については、両線の乗換利便性を向上させるための直通化に向けた取組を推進します。

このほか、拠点間を連絡する都市交通軸は、交通事業者と連携して維持・充実を図ります。

② 都心エリア内の公共交通手段の充実

高岡駅～新高岡駅間の都心交通軸については、JR 城端線と路線バスによるアクセスの維持・充実を図るほか、JR 城端線・氷見線の直通化に向けた取組を推進するほか、万葉線延伸の実現に向けた取組を支援します。

高岡駅～中心市街地間については、歴史的町並みゾーンへの回遊性向上を図るため、昭和町方面への万葉線延伸の実現に向けた取組を支援します。

③ 市民や観光客が交流できる空間づくり

高岡古城公園（高岡城跡）については、文化財としての価値を持つとともに、都心エリア内のまとまった緑地として重要な役割を果たす空間であるため、公園内の自然環境の保全と併せて、市民及び観光客が憩い交流する空間としての整備を進めます。

なお、美術館、博物館、体育館等については、市民及び観光客が交流する重要な施設であるため、都心エリア内を中心に維持を図ります。

新高岡駅周辺では、首都圏等から訪れる人々を迎える空間として、交流・観光機能の充実を図ります。

4) 高岡の歴史・文化を継承する都心づくり

① 高岡の歴史・文化を回遊する「たかおかストリート構想」の推進

国宝「瑞龍寺」、重要文化財「菅野家住宅」、国史跡「加賀藩主前田家墓所（前田利長墓所）」・「高岡城跡」、重要伝統的建造物群保存地区に選定された山町筋と金屋町の町並みについては、今後もその保存と活用を図ります。

これら貴重な歴史・文化資産を巡る回遊ルートを設定するとともに、駐車場や歩行空間の整備、案内・誘導サインの設置、レンタルサイクルの活用に加え、沿道の方々の協力により、市民や観光客が安全で快適に歩ける環境づくりを進めます。

② 若い世代へ伝統産業や伝統文化を伝えるまちづくり

銅器や漆器といった伝統産業を継承するための取組を、山町筋や金屋町をはじめ歴史的風致が残る地域において推進し、新たな創造活動を生み出すアート空間など創造の場の創出します。

ユネスコ無形文化遺産に登録された高岡御車山祭をはじめ、高岡獅子舞大競演会、高岡七夕まつり、クラフト市場街、高岡万葉まつり、日本海高岡なべ祭りといった多様な祭礼、催事を通じ、新たに移り住んだ人をはじめ若い世代にも高岡市の伝統や文化を伝え、愛着と誇りを醸成します。

③ 高岡の魅力を発信する空間づくり

観光客を含め市内外の多くの人が目にする高岡駅・新高岡駅周辺では、「パブリックアート」を活用して高岡らしい魅力的な都市空間を創出するとともに、今後は、屋外広告物規制の強化や一定以上の建築物に対する景観誘導のほか、眺望景観の確保、景観形成重点地区の指定についても検討します。

また、高岡駅・新高岡駅周辺における交流・観光施設の充実により、都心エリアの魅力だけでなく、5つの地域が持つ魅力も発信していきます。

④ 高岡の文化に触れる空間の創出

様々な文化活動やイベントを通じて、市民生活において文化や芸術に触れる機会を増やすとともに、市民、アーティストなど多様な人が交流し、新しい文化を生み出す創造の場の充実を図ります。

また、歴史・文化を巡る「たかおかストリート構想」とも連携し、高岡の文化に触れられる空間づくりを進めます。

歴史の町並みゾーン

「住む人」の安全・安心を育み、「来る人」が高岡らしい歴史・文化を感じられるまちづくり
 > 山町筋や金屋町を中心に歴史・文化を活かした交流・観光の拠点となるゾーン

■ 金屋町（千本格子の家並み）



■ 山町筋（土蔵造りの町並み）



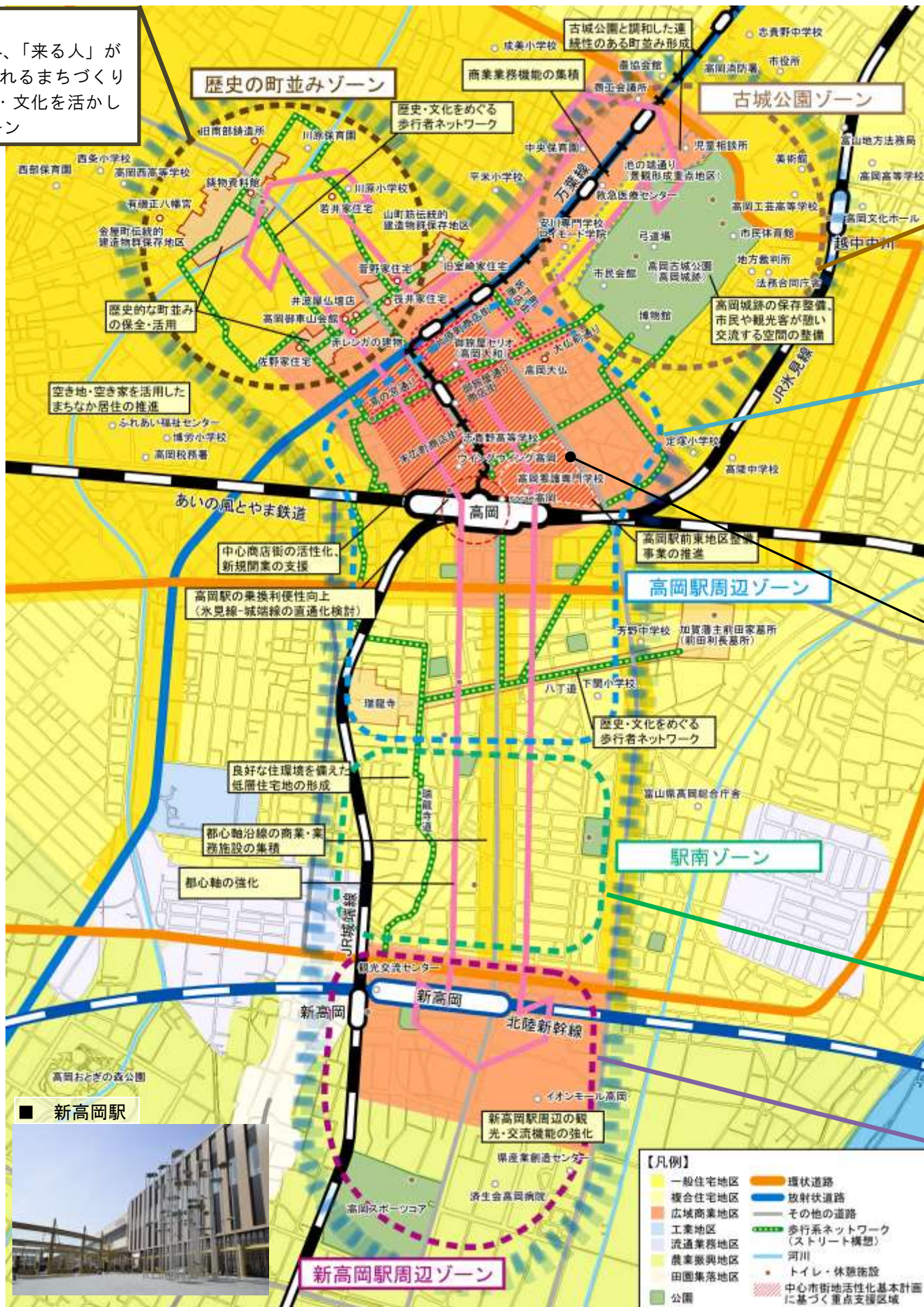
■ 赤レンガの建物



■ 高岡駅



■ 瑞龍寺道



【まちづくりのテーマ】

- ◎ 将来にわたり多様な世代が居住する都心づくり
- ◎ 多くの都市機能がコンパクトに集積した都心づくり
- ◎ 広域的な交流・連携の中心となる都心づくり
- ◎ 高岡の歴史・文化を継承する都心づくり

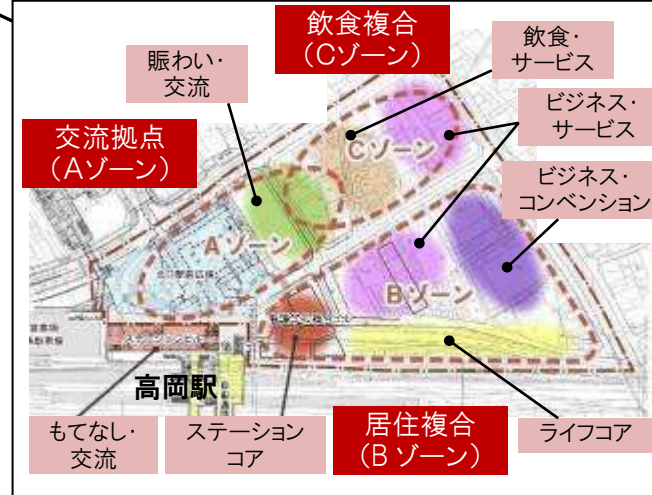
古城公園ゾーン

「住む人」が潤いある便利な生活を育み、「来る人」がまちなかの自然や歴史を堪能できるまちづくり
 > 既存に立地する文化、交流や商業・業務機能を中心とした高次都市機能を集約するゾーン

高岡駅周辺ゾーン

高岡市及び県西部の中核都市としての都市機能の集積を図り、「住む人」と「来る人」の活動を支えるまちづくり
 > 県西部地域の交通結節点として交流・観光や商業・業務機能を中心とした多様な高次都市機能を集約するゾーン

高岡駅前東地区整備基本構想



駅南ゾーン

利便性が高く良好な居住環境の中で多様なライフスタイルを実現できるまちづくり
 > 沿道サービスや業務機能と調和した良好な居住環境の形成を図るゾーン

新高岡駅周辺ゾーン

飛越能地域の玄関口として「来る人」を温かくもてなすまちづくり
 > 大都市圏と飛越能地域との広域的な交通結節点として、交流・観光機能を中心とした高次都市機能の誘導を図るゾーン

■ 高岡古城公園(高岡城跡)



■ 高岡大仏



■ 瑞龍寺



■ 加賀藩主前田家墓所(前田利長墓所)



図 都心エリアのまちづくり方針図